

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろーばーとみおか		
○保護者評価実施期間	6年 12月 28日		7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	7年 1月 20日		7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	登録利用者が11人と少人数のため、10人定員でほぼ毎日利用していただいています。一人ひとりの特性やニーズに合わせた支援対応ができています。一人ひとりの特性やニーズに合わせた支援対応ができています。一人ひとりの特性やニーズに合わせた支援対応ができています。	家族の連絡や学校での出来事も踏まえ、参考にしたリ、結果報告したりして支援に反映させています。	学年に合わせた支援を検討していきます。
2	活動中や送迎時も踏まえ職員と利用児童・保護者と顔合わせや会話する機会が多く、話しやすい関係性が築けているのではないかと思います。	環境の変化や支援時に気付いたことなど、なるべくお伝えしています。	父、母、ご兄弟や祖父母の考えなども相互的に判断して情報を共有したり助言したりしていこうと思います。
3	利用児童のほとんどの子が小学1年生の時から利用を開始して今に至っています。関係性も長く他児の行動や特性をある程度理解しています。児童同士でも互いを気にかけてフォローもし、必然的に協力し成長し合える環境にあるとおもいます。	お兄さんやお姉さんとしての意識が芽生えてくる子も多いので、小さい子の見守りや付き添いのフォローをお願いしたり、高等部になると実習があるので将来的に必要な家事スキルなどにも関わる機会を作っています。	こちらから発信して、学校、実習先、就労先等で行かせるスキルの情報提供などしていければと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数のため、1人あたりの業務負担が大きくなりやすい。1事業所しかないので突然の欠勤や退職があると、補填がしづらく運営に大きな影響が出る。	働ける人材の不足、求人を出しても中々募集にいたらない。	求人にあたり、年収制限や時間制限、ご家族が送迎の運転をすることを禁止しているパターンがある。求人内容を細かくわけて募集をかける工夫が必要になってくるかもしれない。
2	利用者数が少ないため、突然に1人でも利用をやめると運営に影響が出る。	急な退所、利用はタイミングであり難しい、待機もあるが、タイミングが合わないときがあったり、利用申し込みが渋滞したりする。	利用したい方は全日利用希望が多いため、空き曜日だけの受け入れだと不満を持たれてしまう。また児童も利用が定着せず、行くの嫌がったりしてご家族の負担や影響も出てくるのであるべく本人、家族の条件があうように説明、納得していただいた上で受け入れをしていきたい。
3	発達段階や特性の違いが大きい。活動の選択肢や活動の幅が狭まる可能性がある。バランスよく行事や活動を選択する必要がある。	1対1の対応が必要な児童が増えてくると、全体の支援が回らなくなってくることもあるため、配置人員なども増員の必要が出てくる。	短時間採用、短時間配置でも可能な職員を採用できるよう検討していく